

モニタリング結果報告書

施設	葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課	横須賀土木事務所

（平成 23 年度 下半期）

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

＜判定理由＞

葉山公園では、日常の清掃や植物・花壇管理の手入れはよく行き届いており園内の美化に努めている。

また、はやま三ヶ岡山緑地では、適切な施設管理を行い利用者の安全確保に努め、利用満足度で高い評価を得ている。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

（1）葉山公園

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/15	12/1	○	○	×	なし	主に台風後の処置状況を中心に確認
11月	12/15	1/5	○	○	×	なし	マツの手入れ状況を重点的に確認
12月	1/26	2/3	○	○	×	なし	花壇の手入れ状況を重点的に確認
1月	2/23	3/2	○	○	×	なし	園内の清掃状況を重点的に確認
2月	3/13	3/30	○	○	×	なし	施設点検結果の対応状況を確認
3月	4/24	5/9	○	○	×	あり	引き続き施設点検結果の対応状況を確認。接遇面における苦情他1件に関し注意

(2) はやま三ヶ岡山緑地

報告 月	受理日	確認通 知日	確認方法			指導 等の 有無	備考（指導事項等）
			月報 確認	現場 確認	電話 確認		
10月	11/15	12/1	○	○	×	なし	主に園路階段の落葉処理を確認
11月	12/15	1/5	○	○	×	なし	前年度未実施の利用満足度調査状況を確認
12月	1/26	2/3	○	○	×	なし	イベント実施状況を確認
1月	2/23	3/2	○	○	×	なし	危険木・枯損木の処理状況を重点的に確認
2月	3/13	3/30	○	○	×	なし	引き続き危険木・枯損木の処理状況を確認
3月	4/24	5/9	○	○	×	なし	主に園路の清掃状況を確認

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

(1) 葉山公園

<提案内容の概要>

- ① 海浜丘陵地の環境を保全継承する緑地管理
 - ・ 海浜植物の保護育成について学術機関と連携した調査、助言を交えた維持管理の推進
- ② 気持ちよく過ごせるサービスの提供
 - ・ 季節が感じられる草花の花壇等の演出
- ③ 地域との連携による公園の魅力アップ
 - ・ 地域自治会や地域関係団体等と連携し開催、または関係団体の開催への協力を行なう
 - (1)海辺の自然観察会
 - (2)スタンプラリー
 - (3)竹細工教室
 - (4)ピンホールカメラ工作&撮影教室
 - (5)花壇管理ボランティア
 - (6)園内清掃ボランティア

<実施状況>

- ① 年間を通じて保護育成に努めている。
- ② 人の目を楽しませる花壇の演出を随所に行なった。
- ③ 上半期に(1)の自然観察会を実施している。他の項目については、次年度実施への準備・検討にとどまった。

(2) はやま三ヶ岡山緑地

< 提案内容の概要 >

- ① 丘陵地のみどりの大切さを伝え地域で育てる森づくり
 - ・ 緑地の自然を広く紹介するため、自然観察会など地域と連携して開催する。
 - (1) 植物自然観察会
 - (2) バードウォッチング
 - (3) スタンプラリー
 - (4) ボランティア植物調査隊

< 実施状況 >

- ① 上半期に(1)自然観察会と(2)バードウォッチングを実施。他の項目については、次年度実施への準備・検討にとどまった。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	26,200 (26,100)	14,000 (14,000)		12,200 (12,100)	24,026 (26,100)	2,174 (0)
下半期 予算額	11,176	9,976		1,200	12,515	△1,339
10月	544	0		544	1,803	△1,258
11月	1,590	1,127		463	1,634	△44
12月	4,705	4,705		0	1,719	2,985
1月	1,309	1,309		0	2,973	△1,664
2月	1,341	1,341		0	1,448	△107
3月	1,494	1,494		0	1,604	△110
今年度 半期計	10,983	9,976		1,007	11,184	△201
前年度 同期計	11,018	9,976		1,042	13,354	△2,336

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。

②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

① 収支差額は、駐車場利用者の減少により臨時駐車場を開設しなかったため、県へ納付する土地使用料が減額（約50万円）になったこと、及び駐車場運営費の減額（約160万円）が見込まれたため、支出計画額を縮減したことによるものである。

②③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

(1) 葉山公園

	金額	工事箇所・内容
上半期	-	-
下半期	500 千円	転落防止柵補修・遊具施設安全マット設置 (500 千円)
総額	500 千円	

(2) はやま三ヶ岡山緑地

	金額	工事箇所・内容
上半期	-	-
下半期	1,434 千円	危険木伐採処分工 (1,434 千円)
総額	1,434 千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒葉山公園、はやま三ヶ岡山緑地とも該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

(1) 葉山公園

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	10,880 人	10,790 人	0.8%
11月	9,435 人	8,920 人	5.8%
12月	8,608 人	8,090 人	6.4%
1月	8,370 人	7,660 人	9.3%
2月	7,590 人	6,955 人	9.1%
3月	9,181 人	6,030 人	52.3%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	69,280 人	91,545 人		△24.3%
今年度下半期計	なし	54,064 人	48,445 人		11.6%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

① 下半期は震災の影響がほぼなくなったため、利用者の回復傾向が顕著となった。

② 該当なし

(2) はやま三ヶ岡山緑地

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	770 人	780 人	△1.3%
11月	845 人	1,045 人	△19.1%
12月	660 人	785 人	△15.9%
1月	680 人	770 人	△11.7%
2月	648 人	640 人	1.3%
3月	665 人	653 人	1.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	4,681 人	5,899 人		△20.6%
今年度下半期計	なし	4,268 人	4,673 人		△8.7%

利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
- なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①② ⇒該当なし

6 苦情・要望等の状況

（１）葉山公園

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)

（２）はやま三ヶ岡山緑地

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

（１）葉山公園

分野	概要	対応状況
施設・設備	・照明が2,3基しか点いていない。危ない	・総点検し復旧。数基は節電のため常時減灯
	・	
職員対応	・言葉づかいが悪い。指導してほしい	・丁寧な言葉遣いおよび対応をするよう指導
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

(2) はやま三ヶ岡山緑地

⇒該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

⇒葉山公園、はやま三ヶ岡山緑地とも該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

⇒葉山公園、はやま三ヶ岡山緑地とも該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	(葉山公園) 施設管理は、老朽化施設の点検補修（強風後にアズマヤの屋根破損箇所の修理等）を速やかに実施した。また、子供の飛び出し防止用「四ツ目垣」を設置した。清掃管理は、トイレ清掃を毎日実施するとともに、海浜部の階段等に堆積した砂除去を頻繁に行い安全管理に努めた。植物管理は、ハマナス保護用タケズの改修や松若木の支柱補修等を行い保護育成に努めている。 また、公園来園者の多い土日祭日（無料期間）に駐車場管理員を配置し、臨時駐車場を開放して多くの来園者を受け入れている。 なお、雨天時は、次年度のイベント用巣箱作り等も行っている。 (はやま三ヶ岡山緑地) 施設管理は、老朽化した階段や標識等の点検・修理による安全管理を行っている。植物管理は、枯損木や枯枝の処理、山野草の移植（キツネノカミソリ）や種蒔（千両）等を行っている。 また、広場等の除草や眺望を確保できる箇所での樹木等の剪定を行い緑地環境向上による来園者増を図っている。 なお、三ヶ岡山緑地の自然環境の良さをPRするための自然観察会を継続するとともに草花の開花状況等を協会HPに掲載した。
施設所管課	(葉山公園) 季節に応じた花壇の演出や、清掃をこまめに実施する等、園内の美化に積極的に取り組んでいる。また、タケズを取替えや四ツ目垣を設置する等、公園の安全と景観づくりにもよく取り組んでいる。 利用促進については、次年度への検討・準備にとどまった事業もあり、実施体制・方法について強化を図る必要がある。公園が小規模なため、研修室などの施設が無く、難しい面もあるが、PRや情報発信を積極的に実施し、公園に係るボランティアの獲得やイベント参加者の増に取り組む必要がある。 (はやま三ヶ岡山緑地) パトロールは欠かさず実施し、危険箇所は速やかに処置するなど施設管理を適切に行い、利用者の安全な歩行に努めている。 接遇面では、満足度調査から、「大変良い」と「良い」合わせて80%となり高い評価を得ている。 利用促進面では、自然観察会やバードウォッチングを引き続き実施するとともに、地元の身近な緑地としてより積極的にPRしていくことが望まれる。